## 基 礎 徹 底 演 習 問題プリント

場合の数と確率③

## 23

最初、点Pは座標平面における原点にあり、さいころを1回投げるごとに、次の規則で移動するものとする。

さいころを1回投げたとき

1か2の目が出れば、x軸の正の方向に1だけ移動

3 か 4 の目が出れば、<math>x軸の負の方向に1だけ移動

5の目が出れば、y軸の正の方向に1だけ移動

6の目が出れば、y軸の負の方向に1だけ移動

例えば、1回目に2の目が出て、2回目に5の目が出れば、点Pは(1, 1)に移動する。

(1) さいころを3回投げたとき

 $\triangle P$ が(3, 0)にある確率は $\boxed{P}$ ,  $\triangle P$ が(2, 1)にある確率は $\boxed{1}$ 

である。

- (2) さいころを3回投げたとき, 点Pが直線 x+y=3 上にある確率は  $\frac{}{2}$  である。
- (4) さいころを 4 回投げたとき, 点 P が原点にある確率は ジス である。

ア	1	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	サ	シ	ス	セ	ソ

## 年 組 番 名前

## 24

赤玉3個と白玉6個が入っている袋の中から、無作為に玉を1個ずつ取り出す試行を続ける。 ただし、取り出した玉は袋には戻さないものとする。

- (1) 玉を2個取り出したとき、赤玉1個と白玉1個である確率は アーである。
- (3) 赤玉が先に袋の中からなくなる確率は サ である。
- (4) 赤玉が先に袋の中からなくなったとき, 1回目と2回目に取り出した玉が, ともに赤玉である条件つき確率は シーである。 スセ

ア	1	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	サ	シ	ス	セ